

## 学校評議員会議録

開催日時	平成25年7月8日(月) 14時00分 ~ 15時30分	
会場	北海道八雲養護学校 校長室	
出席者数	学校評議員 5名	学校側 4名
出席者名	八雲町教育委員会教育委員 宮田千秋 北海道八雲養護学校後援会会長 大久保建一 国立病院機構八雲病院理学療法室長 三浦利彦 北海道八雲養護学校PTA役員 小出幸子 八雲病院筋疾患入院者の会会員(本校同窓生) 石前翔平	校長 小林 守 教頭 原田 稔 事務長 野島 浩志 教諭 逢坂 卓志
校長が意見を求めた事項	学校評議員の意見	
(1) 今年度の学校概要及び学校経営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の在籍状況に関わる重複障害の児童生徒の数について、病院の分類とは異なり混乱するため、重複の定義を記述してもらえるとわかりやすい。</li> </ul>	
(2) 児童生徒の自己肯定感を高める指導のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を卒業して自分の人生設計を考えるとときに、自分の病気を理解していかなければならない。大人の段階では理解できるものも、中学生ではなかなか難しい。子どもたちと多く接する先生がキーパーソンとなる。保護者や病院との連携も重要となってくる。</li> <li>・子どもの成長に伴い、(病気について)誰かが知らせなければならなくなる。</li> <li>・インターネット等で自分の病気を調べたことがある。生徒によっては病気を受け入れられない人もいたので、(生徒自身の病気理解については)個々に合わせて進めてもらいたい。</li> <li>・将来何になりたいかななどの希望があれば、なれるかどうかより希望を持つことが重要であり、その中から新たな道が生まれてくる可能性がある。最終的に満足という到達点があり、たとえ夢が叶わなくともそれに向かっていく経験が重要である。</li> <li>・そのためにもキャリア教育に取り組んでほしい。</li> </ul>	
(3) 学校教育目標の見直しについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標についてはシンボリックなものであれば特に手を加える必要はないと思う。</li> <li>・どこの学校でも同じようなものである。校長が代わるたびに替えても良いと思う。会社でも経営者が代われれば経営理念が変わると同じことである。</li> </ul>	
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳学習については安全面の配慮も年々レベルアップしており感謝している。ただ、学習のタイムスケジュールをしっかりと管理し、計画的に行動してほしい。</li> <li>・札幌の特別支援学級での誤飲による死亡事故があったがここの子どもたちには、潜在的な危険を理解しての指導が必要であり、今一度、先生方にも認識してほしい。</li> </ul>	
<p>上記のとおり会議を開催した。 平成25年 7月 9日</p> <p style="text-align: right;">北海道八雲養護学校長 小林 守 ㊞</p>		

※ 別の書式により意見聴取の内容を整理している場合は、それを添付し保管すること。  
 ※ 配付資料等を添付し保管すること。